

# 人権啓発研修用ビデオ(DVD作品)リスト【平成27年度新規登録作品】

宮崎県人権啓発センター

平成27年3月末現在

分野	タイトル	映像種別	上映時間	制作年	テーマ	対象	内容紹介	分類番号
人権全般	イマジネーション 想う つながる 一歩ふみだす		34分	2013	いじめ 部落差別 発達障がい	中学生～一般	いじめを受けている人、いじめをしている人、部落差別を受けている人、差別をしている人、発達障がいのある人、発達障がいのことを誤解している人、そして、それらの問題は「自分とは関係ない」と思っている人・・・あなたはどうですか？	00-184
人権全般	ココロ屋	アニメ	25分	2014	自尊感情 思いやり アサーション	小学生	小学校3年生のひろきは友だちとけんかをしてしまい、先生に「心を入れ替えなさい」と言われてしまう。うまくいかない自分の心を持って余しているひろきの前に謎の「ココロ屋」が現れる。心を取り替えてくれるというのだ。ひろきはさっそく、「優しいココロ」に心をかえてもらう・・・	00-185
人権全般	すべての人々の幸せを願って ～国際的視点から考える人権～		35分	2015	人権全般	中学生～一般	世界には、一人ひとり違いをもったたくさんの人たちが暮らしています。すべての人々の人権が尊重され、相互に共存しうる、平和で豊かな社会を実現するためには、私たち一人ひとりが人権に対する理解を深め、相手の違いを認めつつ、人間として相互に尊重し合うことが必要です。	00-186
女性の人権	わたしからはじめる人権 女性の人権編		23分	2013	ジェンダー ドメスティックバイ オレンス セクハラ	一般 職場研修	女性の人権問題を、ドラマ、ドキュメンタリー、解説と3つのパートで構成。指導の手引きの設問集とともに、自分が被害者、加害者、傍観者になっていないか、問いかけます。被害者達の心の痛みを知ることを通して、日常に差別があった場合、どうするべきかを考えます。	01-77
子どもの人権	わたしからはじめる人権 子どもの人権編		17分	2013	子どもの権利 いじめ こどもの虐待	一般 教職員	子どもの人権問題を、ドラマ、ドキュメンタリー、解説と3つのパートで構成。大人からは見えない子どもの本音に迫りながら、子どもの人権を守るためにできることは何かを考えます。『子どもの虐待』は、虐待防止センターの相談員の話を中心に、虐待とはなにか、どうしたら防ぐことができるか、掘り下げます。	02-107
子どもの人権	ひとりぼっちはいやだよね ～みんなでなくそういじめ～		20分	2014	いじめ	小学校高学年	いじめをなくすために画期的な指導をしている2つの小学校の授業風景。ある小学校では、ロールプレイでいじめを疑似体験し、感想や意見を聞いていく。もう1つの学校では、子どもが仲裁役となって問題を解決する「ピア・メディケーション」という活動に取り組んでいる。	02-108
子どもの人権	思いやりが命を救う ～いじめゼロを願って～		20分	2014	いじめ	中学生	横浜市神奈川区では、区内の中学校の代表が集まり、学校と警察が連携して、いじめや非行などに立ち向かおうと、「防犯サミット」を開いている。また、北海道小樽市の中学校では、友だち同士の助け合いによって、いじめなどを解決する取り組みをしている。	02-109
子どもの人権	いじめゼロ宣言 ～安心して楽しく通える学校にする～		22分	2014	いじめ	指導者 保護者	現在のいじめの形態と傾向について、事例や専門家の解説を交えながら、周りの教師や保護者がどのようにいじめを察知し対処すればよいのか、その内容を具体的に示す。また、ある中学校の「いじめ防止プログラム」を紹介し、その活動の様子を描く。	02-110
障がいのある人の人権	秋桜(コスモス)の咲く日		34分	2013	発達障がい	一般 職場研修	特別養護老人ホーム「向庸園」の主任介護士として働く大谷ちひろは、新しく入った介護士中嶋直也に期待するが、直也は空気の読めない発言をしたり、コミュニケーションが取りづらい。ちひろはストレスを感じながらも、直也を育てるべく奮闘するが・・・	04-62
障がいのある人の人権	わたしからはじめる人権 障がいのある人の人権編		17分	2013	視覚障がい 聴覚障がい 肢体不自由	一般 職場研修	障がいのある人の人権問題を、ドラマ、ドキュメンタリー、解説と3つのパートで構成。それぞれが違う障がいを抱えながら生きる人々の姿や言葉を通して、障がいのある人々の人権について考えます。障がいのある人々がよりよく生きるために私たちができることは何か、考え行動するきっかけとなります。	04-63

分野	タイトル	映像種別	上映時間	制作年	テーマ	対象	内容紹介	分類番号
同和問題	あなたに伝えたいこと		36分	2014	部落差別 インターネットによる人権侵害	一般 職場研修	この作品のテーマは「インターネット時代における同和問題」です。インターネットには、その利便性ととも、陰の部分があります。インターネットの持つ危険性に、私たちがどのように向き合っていけばよいかを問い直します。	05-197
同和問題	シリーズ映像でみる人権の歴史 第1巻 東山文化を支えた「差別された人々」		16分	2014	同和問題	学生 一般 職場研修	世界遺産である銀閣寺や竜安寺の庭園などをつくったのは、実は「河原者」であったという歴史的事実は、差別された人々のイメージを逆転させた。教科書でも、「差別された人々」の功績が多く取り上げられている。偉大な芸術家であった河原者が、なぜ差別されたのか。	05-198
同和問題	シリーズ映像でみる人権の歴史 第2巻 江戸時代の身分制度と差別された人々		15分	2014	同和問題	学生 一般 職場研修	教科書から「土農工商」という表現が消え、部落は社会の下ではなく「ほかに」「別に」「異なる」と表す教科書が増えている。また身分制度は中世から引き継いできたものという記述が多数となった。中世にはじまったすべての身分が江戸時代に「制度化」されたことをわかりやすく解説。	05-199
同和問題	「部落の心を伝えたい」ビデオシリーズ 第24巻 皮革から見える部落問題		27分	2014	部落差別	一般	皮革を通して部落問題を伝え続ける柏葉嘉徳さん。自身の工場でのユーモア溢れる講演と、革なめしの体験学習が、参加者の意識を大きく変えていく。	05-200
同和問題	「部落の心を伝えたい」ビデオシリーズ 第25巻 芸能と差別		23分	2014	部落差別	一般	芸能万華鏡『しのだづま考』を演ずるひとり芝居・中西和久さん。三代続く役者稼業の歴史は、100年に及ぶ部落解放運動の歴史と重なっている。	05-201
同和問題	「部落の心を伝えたい」ビデオシリーズ 第26巻 生きた童話を届けたい		28分	2014	部落差別	一般	途絶えていた猿まわし芸を復活させた功労者の一人・筑豊大介さん。叩き仕込みではなく、言って教える本仕込みの教育論が注目を浴びる。	05-202
同和問題	破戒		119分	1962	部落差別	中学生～一般 ※貸出条件あり (右記のとおり)	【個人貸出・県人権啓発センター館内での視聴のみ可、団体貸出・館外上映は不可】 瀬川丑松は父の死に際して、被差別部落出身の素性を誰にも明かさないと誓う。だが、丑松が部落民という噂がどこからか流れてきた。悶え、苦しみ、愛し、果てしなき悲しみに耐える孤独の青春！	05-203
同和問題	橋のない川 第1部(今井正監督)		127分	1969	部落差別	中学生～一般 ※貸出条件あり (右記のとおり)	【個人貸出・宮崎県人権啓発センター館内での視聴のみ可、団体貸出・館外上映は不可】 部落問題というタブー視されてきた素材に挑み、ベストセラーとなった住井すえの長編小説の映画化。被差別部落に生きる人々の苦闘の歴史を、日常の生活に焦点を当て力強く描く。	05-204
同和問題	橋のない川 第2部(今井正監督)		140分	1970	部落差別	中学生～一般 ※貸出条件あり (右記のとおり)	【個人貸出・県人権啓発センター館内での視聴のみ可、団体貸出・館外上映は不可】 『橋のない川・第1部』の後編、原作の二・三部の内容が盛り込まれている。被差別部落に生きる人々の長く苦しい戦いを描きながら、差別を跳ね返していこうとする人間解放の息吹に溢れた作品。	05-205
HIV・ハンセン病患者の人権	人権アーカイブ・シリーズ ハンセン病問題～過去からの証言、未来への提言～／家族で考えるハンセン病		76分	2015	ハンセン病	一般	ハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の証言や解説等を中心にまとめたビデオ／中学1年生の清香は、ある日、親友の真帆から自由研究の参考のためにハンセン病の療養所へ行ってみよう誘われる。	07-16
犯罪被害者等の人権	衝動殺人 息子よ		130分	1979	犯罪被害者	一般 ※貸出条件あり (右記のとおり)	【個人貸出・県人権啓発センター館内での視聴のみ可、団体貸出・館外上映は不可】 町工場を経営する川瀬のひとり息子・武志が不良少年に刺されて死んだ。一時は怒りと悲しみで憔悴する川瀬ではあったが、やがて一念発起して被害者遺族の補償制度を国に訴えかけていく。	08-5

分野	タイトル	映像種別	上映時間	制作年	テーマ	対象	内容紹介	分類番号
インターネットと人権	自分を守る！SNSの安全な使い方		22分	2014	情報モラル	中学生 高校生	中高生に普及している携帯電話、スマートフォンですが、安全な利用法に関する教育が追いついていません。便利な反面、使い方を間違えると事件に巻き込まれる可能性があります。本DVDは、生徒本人に安全な使い方と心構えを解説しています。	09-17
インターネットと人権	子どもを守る！SNSの安全な使い方		20分	2014	情報モラル	保護者	中高生に普及している携帯電話、スマートフォンですが、安全な利用法に関する教育が追いついていません。便利な反面、使い方を間違えると事件に巻き込まれる可能性があります。保護者にSNSの基礎知識と、子どもにどのように安全な使い方を指導するのかを解説しています。	09-18
インターネットと人権	生徒を守る！SNSの安全な使い方		21分	2014	情報モラル	教職員	中高生に普及している携帯電話、スマートフォンですが、安全な利用法に関する教育が追いついていません。便利な反面、使い方を間違えると事件に巻き込まれる可能性があります。教員にSNSの基礎知識と、生徒にどのように安全な使い方を指導するのかを解説しています。	09-19
インターネットと人権	気をつけよう！ケータイ・ネットを使うとき 危険性を考え、ルールをつくる		22分	2015	情報モラル	小学校中・高学年	コミュニケーションの道具としてのインターネットという切り口で、インターネットを上手に安全に使う方法を学ぶ。小学校中・高学年向け。1、文字のやりとりでけんかになる。2、ネットでいじめになる。3、ネットが止まらなくなる。4、めいわくメールが来る。	09-20
インターネットと人権	便利？それとも危険？ ケータイ・ネットでのコミュニケーションを考える		22分	2015	情報モラル	中学生 高校生	コミュニケーションの道具としてのインターネットという切り口で、インターネットを上手に安全に使う方法を学ぶ。中学生・高校生向け。1、ネットのコミュニケーション。2、ネットいじめ。3、ネット情報の見分け方と個人情報。	09-21
インターネットと人権	ケータイ・ネット ここが心配 犯罪から子どもを守る		23分	2015	情報モラル	保護者 指導者	コミュニケーションの道具としてのインターネットという切り口で、インターネットを上手に安全に使う方法を学ぶ。指導者・保護者向け。1、ネットでの会話の問題。2、ネットいじめの背景。3、ネット依存の影響。4、個人情報盗まれる問題。5、犯罪の入り口となる危険なサイト。	09-22
インターネットと人権	スマホの安全な使い方教室		23分	2015	情報モラル	中学生	スマホを介して、いつでもどこでも他人とつながることができる、SNSでのトラブルも増加しており、子どもたちへの教育が重要となっている。本作品では、個人情報の取り扱い、SNSに潜む危険など最新のトピックを取り上げ、スマホの安全な使い方を学んでいきます。	09-23
性的少数者	家庭の中の人権 カラフル		31分	2014	家庭の中の人権 性的少数者の人権 多様性を認める	一般 職場研修	福沢聡は大手商社に勤めながら、妻と2人の子どもと共に暮らしている。聡の最近の気がかりは、就職後すぐに会社を辞めてしまい、フリーターを続けている息子・一馬のこと。また就活中の娘・愛美も社会や人間に対する考え方がまだ未熟で、端から見ていると危なっかしい。	10-3
拉致問題等	「ただいま」の声を聞くために		33分	2009	拉致問題	一般	1977年、部活を終え帰宅途中の横田めぐみさんは、家まであと3分くらいの所で消えてしまいました。20年後、めぐみさんは北朝鮮に拉致されたことが分かりました。両親はめぐみさんを取り戻すために今も活動を続けています。横田滋さん、早紀江さんの心の思いを映像化。	12-4
その他	裁判から学ぶ パワーハラスメント判例集		27分	2012	パワーハラ	職場研修	パワーハラは相手の人格や尊厳を侵害する言動です。加害行為がエスカレートするのを放っておくと、うつ病の発症や最悪の場合、自殺という結果を招くこともあります。職場のパワーハラが訴訟に発展した事件を紹介して、行き過ぎた指導や心ない言動のエスカレートを防ぎます。	20-103
その他	パワーハラにならない部下とのコミュニケーション 第1巻		30分	2015	パワーハラ 職場のコミュニケーション	職場研修 ※貸出条件あり (右記のとおり)	【県人権啓発センター館内での視聴・上映のみ可、貸出は不可】 パワーハラの原因はコミュニケーション不全。共感力・観察力・表現力を身につけ実践することにより、パワーハラのない職場を実現できる。第1巻では自分自身の言動を見直しコミュニケーションの取り方を学ぶ。	20-104

分野	タイトル	映像種別	上映時間	制作年	テーマ	対象	内容紹介	分類番号
その他	パワハラにならない部下とのコミュニケーション 第2巻		23分	2015	パワハラ 職場のコミュニケーション	職場研修 ※貸出条件あり (右記のとおり)	【県人権啓発センター館内での視聴・上映のみ可、貸出は不可】 パワハラ の大きな原因はコミュニケーション不全。共感力・観察力・表現力を身 につけて実践することにより、パワハラのない職場を実現することができ る。第2巻では共感力・観察力・表現力について学ぶ。	20-105
その他	パワハラにならない部下とのコミュニケーション 第3巻		20分	2015	パワハラ 職場のコミュニケーション	職場研修 ※貸出条件あり (右記のとおり)	【県人権啓発センター館内での視聴・上映のみ可、貸出は不可】 パワハラ の大きな原因はコミュニケーション不全。共感力・観察力・表現力を身 につけて実践することにより、パワハラのない職場を実現することができ る。第3巻では表現力をエクササイズで身につける内容。	20-106
その他	みんな生きている		30分	2014	東日本大震災と 人権	中学生～一般	東日本大震災で、母・里子を亡くした俊太と仁美。里子を失った悲しみか ら心が不安定となり、いなくなった父・芳雄。震災孤児となった俊太と仁 美は、里子の姉・弓子の家に引き取られた。だが、避難生活が続く弓子 も、俊太と仁美の心の傷に十分に目が届いていなかった。	20-107
その他	ぼくらの誇り		20分	2014	東日本大震災と 人権	小学校高学年 中学生 一般	福島県いわき市豊間小学校。被災から1年後、震災後のつらい生活と、 津波で家族・親族・地域・家屋を失った悲しみは、子どもたちの心に深い 傷と陰を残した。心のケアのために子どもたちの当たり前の日常を回復 する・・・校長先生の願いは、子どもたちに映画作りを体験させること。	20-108
企業と人権	企業活動に人権的視点を CSRで会社が変わる・社会が変わる		104分	2015	CSRと人権課題	職場研修	経産省中小企業庁の委託事業としてH14年度からH25年度に各地で開 催した「『企業の社会的責任と人権』セミナー」において、CSRと人権課題 に積極的に取り組んでいる企業が発表した実践事例の中から、企業に とって関心の高いテーマに関する事例を分かりやすくまとめた。	21-24
企業と人権	なぜ企業に人権啓発が必要なのか		22分	2014	企業に求められ る人権意識	職場研修	企業にとっての人権啓発とは何なのでしょう？自分の日々の業務の 中で、何ができるのでしょうか。人権啓発を考えるヒントを、企業を舞台に 日常の会社生活の一コマを切り取った分かりやすいドラマとして構成し、 改めて考えるための素材として活用できるよう制作しました。	21-25